別紙第４

初期消火訓練実施計画（例）

令和　　年度　　　自主防災組織　初期消火訓練実施計画

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 内　　容 |
| 日　時 | 令和　　年　　月　　日（　曜日）　　：　　　～　　：　　迄 |
| 場　所 | 自治会公民館　　出水市　　　町　　　　番　　　　号 |
| 参加者 | 自主防災組織役員及び自主防災組織会員 |
| 参加機関 | 出水市消防本部（教育担当）、消防団　　分団 |
| 訓練目的 | 地震発生時の火災は、消防車の通行不能、火災の同時多発、水道管破損による消火栓の使用不能等により、通常の火災に比べ、制限を受ける特性があるため、自主防災組織による初期消火及び延焼防止ができるよう定期的に訓練し、練度の維持向上を図る。 |
| 災害想定 | １　地震による建物倒壊や地割れ及び停止車両等により、消防車  　が通行不能となる道路が発生している。  ２　市内全域に火災が同時多発している。  ３　地区によっては水道管破損により、消火栓が使用不能である。 |
| 訓練内容 | 【自主防災組織で定めた行動規定の確認】（例）  １　地震発生後、消火班要員は直ちに自分の家庭の出火防止及び家族の安全対策を講じた後、自治会公民館に集合する。  ２　火災の発生状況を把握し、最低限必要な要員が集合しだい現場進出する。  ３　放水は原則、屋外で行う。  ４　火災が拡大し危険な状態になった場合は退避する。  ５　消防機関到着後はその指示に従う。  ６　津波発生の可能性がある場合は、直ちに高台等へ避難する。  【出火防止及び家庭の安全対策の確認】  １　出火防止  　⑴　火気器具の点検及び火気器具設置位置周辺の整理整頓  　⑵　可燃性危険物の保管・保定状況（ＬＰガスボンベ等）  　⑶　消火器等の消火用資器材の点検・整備  　⑷　建物等の危険箇所の点検・整備 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 内　　容 |
| 訓練内容 | ２　各家庭の安全対策  　⑴　日頃の備え  　　①　火気器具の故障・欠陥の有無及び周辺の整理整頓  　　②　危険物品（燃料、食用油、スプレー缶、可燃性）等の点検及び適切な配置  　　③　家具等の転倒・落下防止（第２章第１－１０、第２参照）  　⑵　地震の揺れが治まった後、自宅を離れる前にすること等  　　①　停電を予期して電化製品をコンセントから抜く。  　　　　ブレーカーを「切」  　　②　火の始末及びガス栓を「切」  　　③　火災発生時の処置  　　　・　非常ベル・鳴り物または「火災」と大声で叫びながら、周囲に助力を求め、消火器等で消火する。  　　　・　消火器が無い場合は、座布団等で叩くか密閉する。  　　　・　炎が天井近くに届く等、消火が困難な場合は避難する。  【出水市消防本部による出前講座】  １　消火資機材の取扱要領  　⑴　火元を確認し、逃げ口を背にして消火する。  　⑵　火元をゆっくり掃くように左右に振りながら、手前の火から消火する。  　⑶　屋外では風上から放射し、身体を低くし煙や熱気を避けながら消火する。  ２　消火器の使用方法  　⑴　各種消火器の使用方法  　⑵　消火器または水消火器による消火方法の訓練  ３　屋内消火栓や防火扉  　　訓練場所により、屋内消火栓や防火扉がある場合は、その使用方法の訓練  ４　消火器が無い場合の消火要領  ※　出水市消防本部の出前講座受講年度以降、地域の消防団員による展示説明及び体験、または本書「第８章第３「初期消火」」を参考に自主防災組織独自での訓練により練度を維持する。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 内　　容 |
| 訓練時程 | |  |  | | --- | --- | | ０８：００ | 訓練開始式及び訓練説明（事前説明内容を確認） | | ０８：２０ | 訓練開始 | | ０８：４０ | 自主防災組織で定めた行動規定の確認 | | ０９：００  ～  １０：１０ | 【出水市消防本部による出前講座】  　参加人員数により、実施要領を２パターン  【パターン１】参加者が多い場合（30人以上）  　参加人員を３つのグループに区分し、下記項目を１項目あたり２０分で実施し、終了後、別の項目を受講する。  　途中１０分間の休憩を含む。  １　出火防止及び家庭の安全対策の確認  ２　消火資機材の取扱要領  ３　消火器の使用法の体験  【パターン２】参加者が少ない場合（10人以下）  　全員に対して、上記項目を１項目あたり２０分で実施する。（途中１０分間休憩） | | １０：１０ | 質疑応答後、訓練終了式、解散 | |
| 準備事項 | １　訓練場所の選定・確保（できれば前日から確保）  　⑴　少人数の場合は自治公民館、多数の場合は、学校体育館や公共施設を確保（駐車場を含む。）  　⑵　訓練環境のレイアウト図の作成及び関係組織への配布  ２　訓練資機材の準備  　⑴　消防本部へ出前講座を依頼する際は、搬入する資器材と自主防災組織で準備する資機材を確認する。  　　　オイルパン、的、消火器、三角バケツ、ジェットシューター、燃料等  　⑵　マイクセットまたは拡声器の準備  　⑶　救急箱等の準備  ３　グループ分け  　　訓練参加者の把握及び参加者多数の場合はグループ区分を決  　定  ４　前日１６：００頃　訓練場所での資機材等の配置後、点検  ５　前日夕方と当日朝　訓練に関する自治会放送 |